

R3/3/26

令和2年度 第2回岡山県地区防災計画等作成推進協議会

# 令和元年度 地区防災計画作成モデル事業 成果報告

1

城西まちづくり協議会

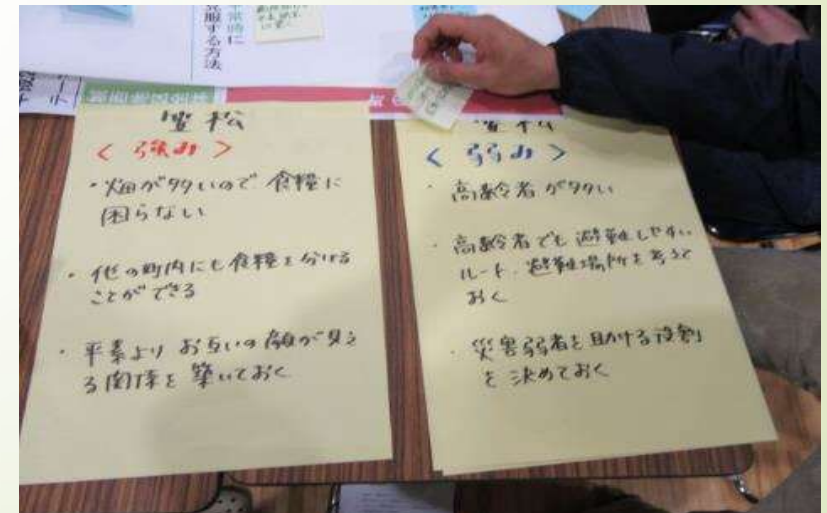


## 津山市城西地区

### ゼロから防災の取組みをスタート

(内閣府地区防災計画作成モデル事業)

H28. 11 ~ H29. 3 (全4回)



## 第1回 災害時のルールづくりに向けて

- ・ 地区防災計画の概要説明
- ・ 「地域で協力したほうがいいこと」についてのグループ討議

## 第2回 災害時の課題のイメージづくり

- ・ 地震で怪我をしないために～我が家と地域で備えよう
- ・ クロスロード・ゲーム（災害時における「困った状況」の体験）
- ・ ゲームの振り返りと教訓の抽出

## 第3回 地域の危険や資源を知る

- ・ 地区で想定される災害について話し合い
- ・ 町内会ごとに、災害図上訓練（DIG）で地域の災害に対する強み・弱みを抽出

## 第4回 城西地区の災害リスクの把握

- ・ 城西地区としての災害時ルールの検討
- ・ 各町内会のアクションプランの検討（各町内会で今後実行する事項の検討）



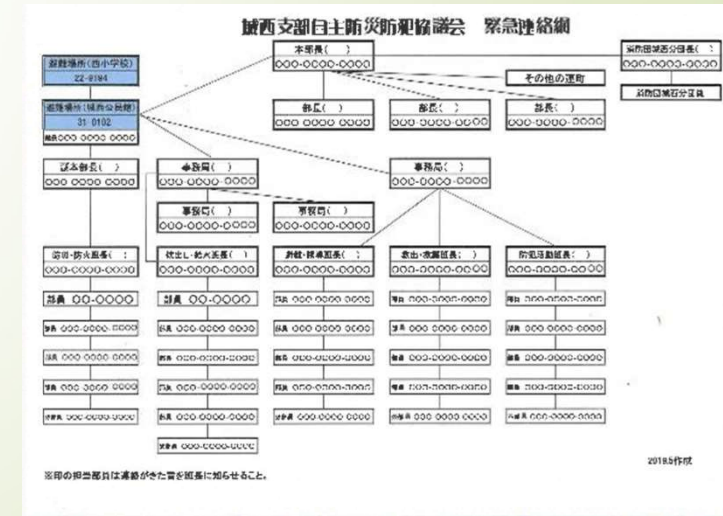
# H29年度より 地区防災計画作成に向け自主活動スタート

## ◎H29年 年間計画

- ・ まち歩き (7月)
- ・ 防災マップ作り
- ・ 防災訓練 (11月)
- ・ 避難所運営ゲーム (3月)

## ◎H30年 年間計画

- ・ 緊急連絡網づくり
- ・ 自主防災組織の担当者見直し
- ・ 町内別マップの見直しと活用
- ・ 防災訓練 (11月)
- ・ 避難所運営ゲーム (3月)



## H31年度の課題

◎防災防犯部会と他の部会との連携

福祉部会 ⇒ 見守り台帳

まちづくり部会 ⇒ 避難場所の拡大

◎2年5か月かけて学んだことを

「地域住民のもの」「災害の時に使えるもの」にする  
災害時、実際に活用できる生きた「地域防災計画」として  
まとめていく



H31岡山県地区防災計画作成モデル地区に選定

# H31年度 地区防災計画作成に向けて

- ◎今までやってきたことをもう一度見直そう
- ◎今まで点々と活動してきたことを文書としてまとめていこう  
(災害時、誰が見ても使える生きた計画となるよう)
- ◎各町内の防災活動を整理し、地域住民の防災意識を高めよう



## ◎H31年 年間計画

- ・緊急連絡網確認
- ・自主防災組織と班の役割を確認
- ・町内別マップの見直しと活用（ハザードマップを活用）
- ・避難所のルール作り
- ・タイムライン作成
- ・個別支援計画（城西見守り台帳）活用に向けて  
(福祉部会で)
- ・各町内の防災活動調査
- ・防災訓練（11月）
- ・避難所運営ゲーム（3月）

# これまでの防災活動から

## 避難所のルール

- 避難所の運営について
  - ◆ 避難所の本部責任者は、城西まちづくり協議会会長と防災防犯部長です。意見の集約、避難所内の連絡などは本部を中心に行います。
  - ◆ この避難所は、城西まちづくり協議会防災防犯部会を中心に運営します。
  - ◆ 行政職員は自治体との連絡調整を行います。
  - ◆ 避難所となる施設職員（城西公民館長、西小学校長）は施設の使い方を指導します。
  - ◆ 支援団体（NPO、社協など）は避難所運営を支援します。
  - ◆ 町内別受付簿や避難所入所者カードに記入していただいた個人情報（緊急を要する場合を除き、外部には漏らしません）。

## 各班の役割

- 事務局
  - 運営全般
  - 事務処理
  - 受付対応
- 本部
  - 指示
  - 連絡（掲示板）
  - 対応（地区内外避難者・マスコミ・ボランティア・行政）
  - 苦情処理
  - 相談受付
- ③避難誘導班
  - 避難支援

避難所の具体的なルールや各班の役割がだんだんできてくる



# これまでの防災活動から

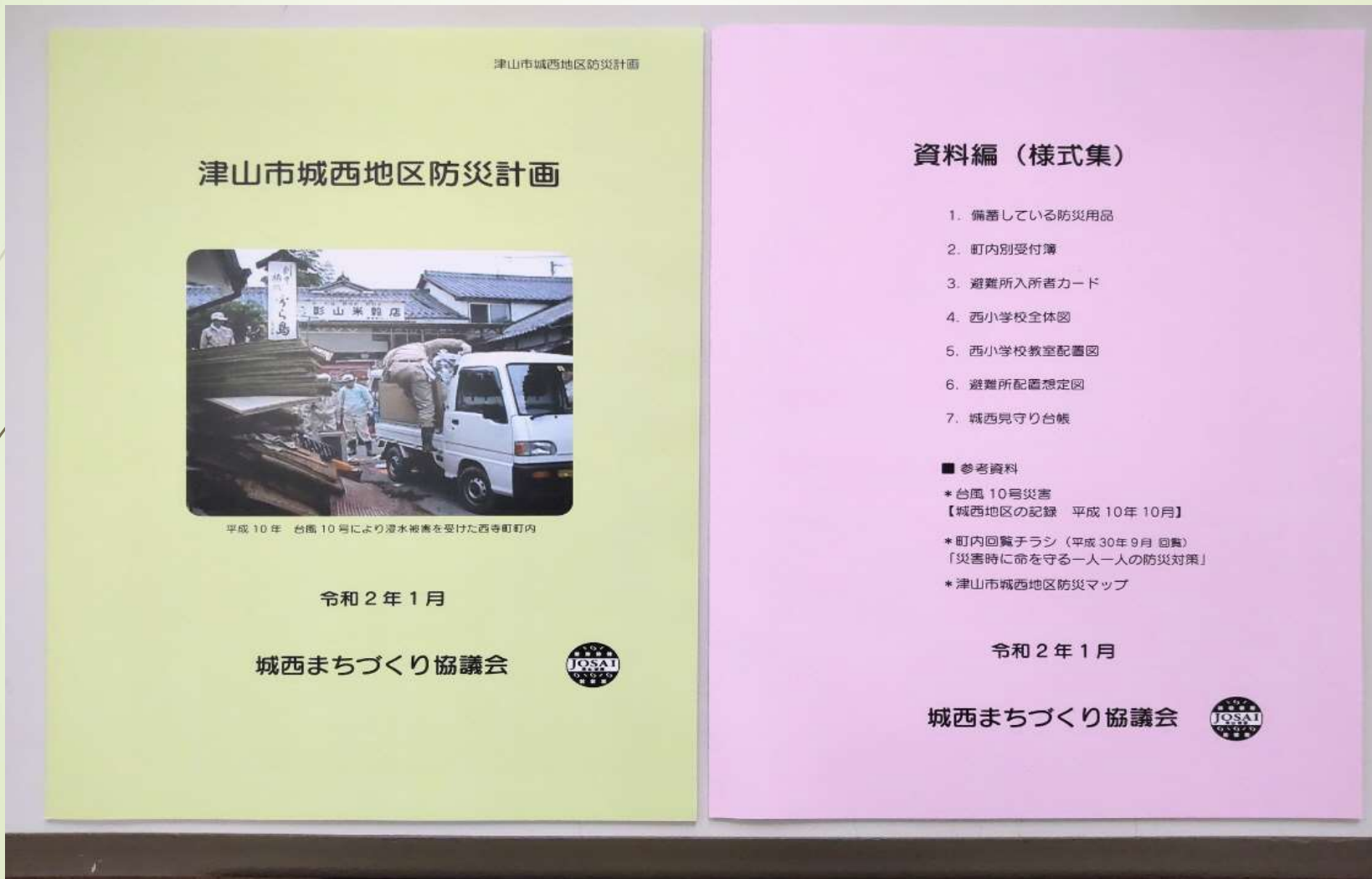
## 災害対策配備フロー（タイムライン）

主な災害等の状況	津山市の体制	城西地区 防災・防犯本部の動き	個人・各町内会の動き
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨洪水注意報が発表され災害発生のおそれがあるとき</li> <li>・水防団待機水位に達し、さらに上昇が認められるとき</li> </ul>	準備体制		<p>（警戒レベル2） 大雨注意報・洪水注意報（気象庁が発表）</p> <p>避難に備え避難場所や経路、避難のタイミングなどの再確認と、避難情報の確認手段の再確認などしてください</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・暴風、暴風雪、大雨、洪水警報のひとつ以上が発表されたとき</li> </ul>	初動配備	情報連絡員（津山市職員）が来たら、公民館から本部長、副本部長に連絡し、町内会長と防災防犯部員に連絡網で知らせる	<p>（警戒レベル3） 避難準備・高齢者等避難開始（津山市が発令） 高齢者等、避難時間を要する人（要配慮者）やそのお世話をする人は、地域で決めた避難所か、市の指定緊急避難所へ避難を開始してください。その他の人は避難のための準備をしてください</p> <p>（警戒レベル4） 避難勧告・避難指示（緊急）（津山市が発令） 速やかに避難の行動を取ってください 災害が発生する恐れが極めて高い状態等で避難が難しいと判断した場合は、近隣の安全な場所や、建物内のより安全な部屋へ移動するなどしてください</p>

行政と連携した自主防災組織としての災害対策フローとタイムライン



# 城西地区防災計画策定 R2.1



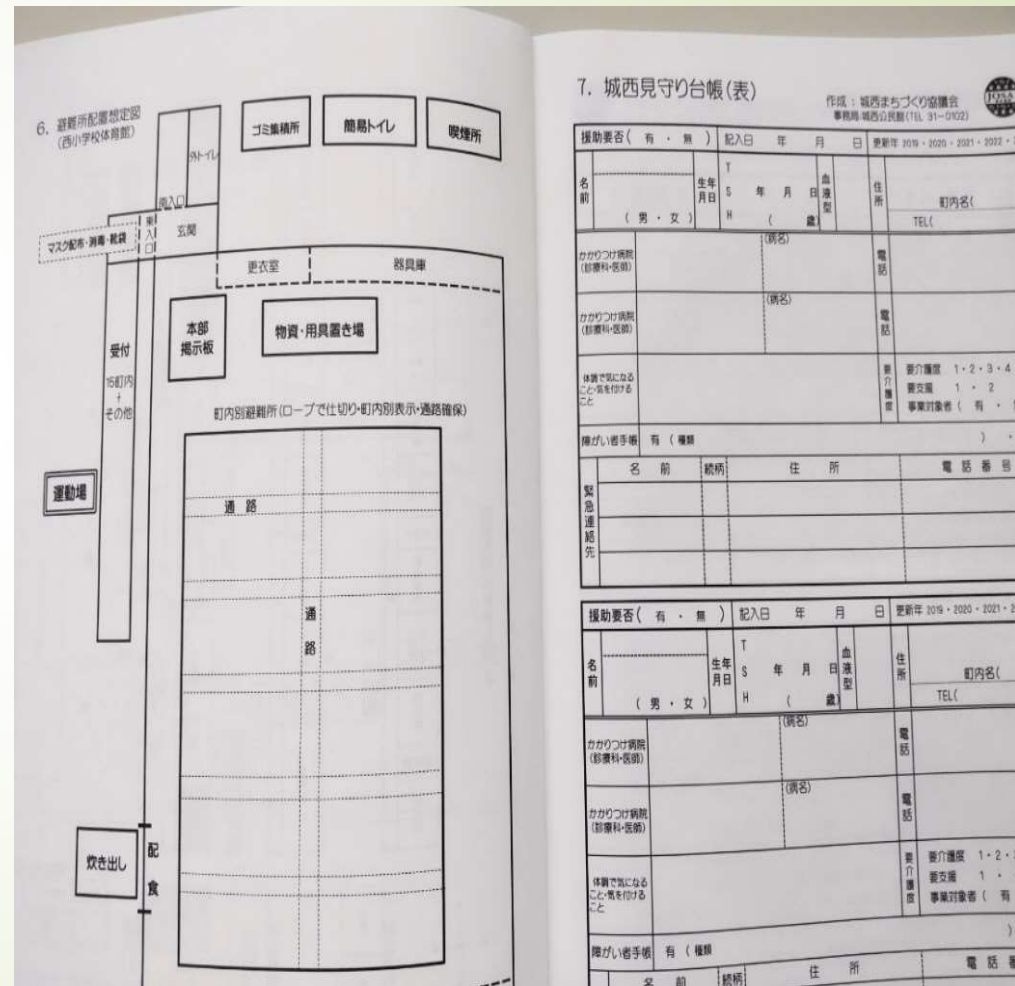
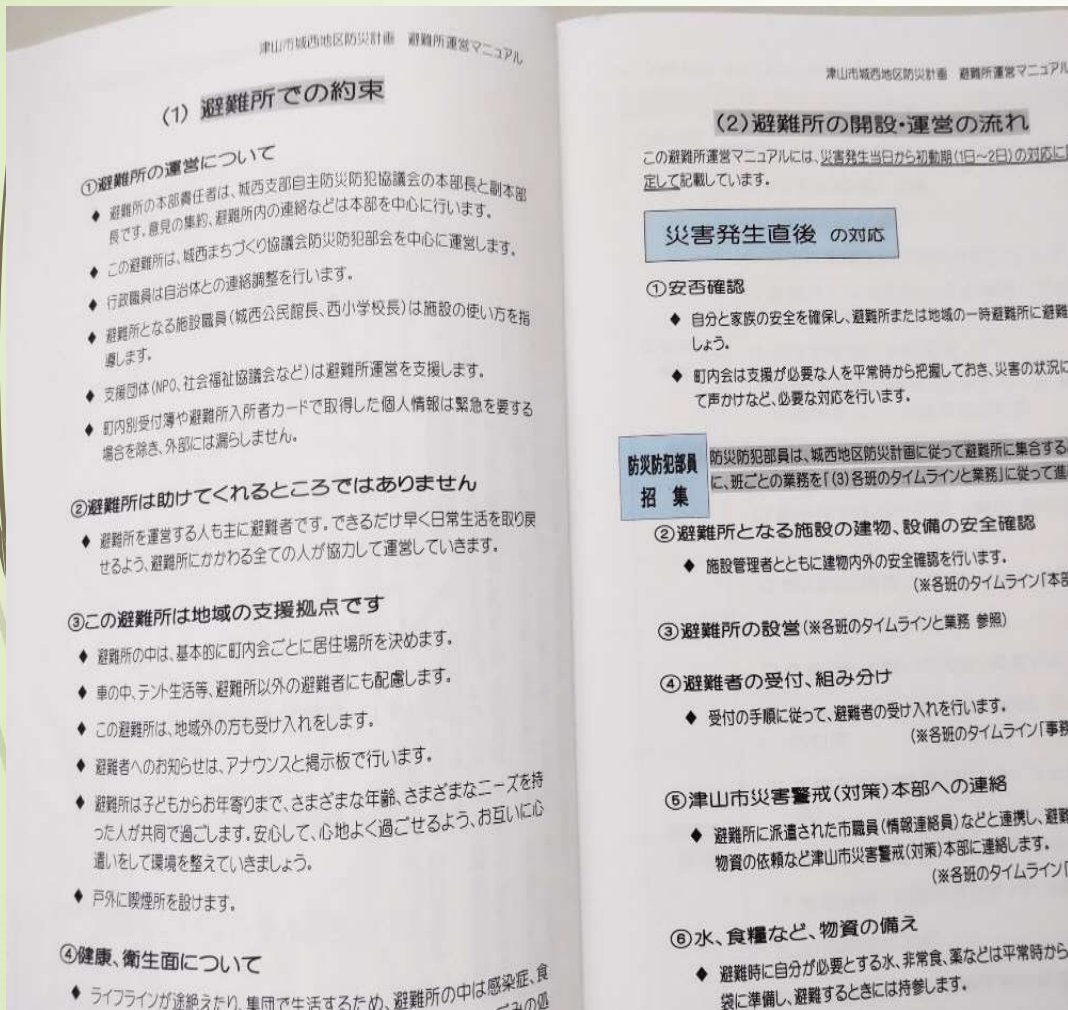
## 城西地区防災計画（本編）に入れた内容

- 1.城西地区防災計画の基本方針
- 2.計画策定対象地区と避難所および策定主体
- 3.地区の特性と予想される災害
- 4.各町内会の強み、弱み
- 5.城西支部自主防災防犯協議会 組織図
- 6.城西支部自主防災防犯協議会 緊急連絡網
- 7.災害対策配備フロー（タイムライン）
- 8.避難所運営マニュアル
- 9.津山市および城西地区の防災体制（電話番号）
- 10.城西支部自主防災防犯協議会 規約

- 1.備蓄している防災用品
- 2.町内別受付簿
- 3.避難所入所者カード
- 4.西小学校（避難所）全体図
- 5.西小学校配置図
- 6.避難所配置想定図
- 7.城西見守り台帳

#### ■参考資料

- \* 台風10号災害の記録
- \* 町内回覧したチラシ  
「災害時に命を守る一人一人の防災対策」
- \* 津山市城西地区防災マップ





# 城西地区防災計画概要版作成 R2.3

## 津山市城西地区防災計画（概要版）

### ◆城西地区防災計画の基本方針

災害発生直後は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があり、そのようなとき力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

津山市城西地区は、平素より連合町内会城西支部が核となっている「城西まちづくり協議会」の組織で、子どもから高齢者まで、互いに支え合い、見守る地域づくりを進めてきました。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、「城西まちづくり協議会」が「城西地区防災計画」を定め、地域住民全員が、平常時から備えの充実を図るとともに、災害時における「自助」、「共助」を軸実に行うため、この計画に基づき施策・事業に取り組みます。

### ◆地区の特性

津山市城西地区の旧出雲街道沿は、1級河川の吉井川が流れており、古くから水害に悩まされた記録が残っている。一方、城西地区の北部は丘陵地になっており、かつては多くの土地が農地として利用されていたが、時代とともに宅地が増え、保水、遊水の機能が低くなり、少しまとまった雨が降ると雨水が一気に低い土地に流れ出し、低地では水路が溢れることがしばしば起こっている。また丘陵地では地滑りの危険がある場所もあり、対策が課題となっている。

また、城西地域では高齢化率が津山市の平均値を上回っており、高齢化世帯、一人暮らしの世帯が増えている。併せて空き家の増加も加速しており、高齢者世帯の見守りなど、防災・防犯面での不安も生じてきている。

### ◆備えておきたい防災用品

#### 自分の身は自分で守る！

★最低3日分の水、食料などは自分で準備する（推奨7日分）



- ★水 1人：1日に3ℓ ⇒ 3日で9ℓ
- ★食料 ごはん類、レトルト食品、缶詰、甘いもの
- ★常備薬 ＊カットパン ＊通帳番号を書いたもの
- ★懐中電灯 ＊ラジオ ＊乾電池 ＊軍手
- ★ポリ袋 ＊新聞紙 ＊ティッシュ ＊タオルなど
- ★非常食になりそうなものを買い置き、使ったら買い足しておきましょう（ローリングストック）
- …缶詰、乾麺、カップめん、野菜ジュース、クッキー など…
- ★携帯コンロとカセットボンベは準備しましょう
- ★車の燃料は常に半分以上にしておきましょう

### ◆災害配備の流れと避難準備

主な災害等の状況	津山市災害要請（対策）本部の動き	城西支部自主防災隊協会の動き	地域住民及び各町内会の動き
（警戒レベル2） 大雨注意報・洪水注意報（気象庁が発表）	準備体制		避難に係る、避難情報の取得、手段の再確認などしてください。
（警戒レベル3） 警報、暴風警報、大雨、洪水警報のひとつ以上が発表されたとき	初動配備	情報連絡員（津山市職員）が城西公民館に配備、各町内会長と防災担当事員にその旨連絡。	避難準備・高齢者等避難開始（津山市が発令） 高齢者等、避難に困難を要する人は、地域で決めた避難所か、市の指定緊急避難場所などへ避難を開始してください。
（警戒レベル4） 水防団出動が発表 局地的大雨、豪雨、火災、爆発が発生 震度4または5強の地震発生	警戒体制（1号配備）	災害の規模が大きくなり、対応が必要と判断した場合は、班長と事務局に連絡をかける。	避難勧告・避難指示（緊急）（津山市が発令） 速やかに避難行動を取ってください。避難が難しい場合は、安全な場所や、建物内のより安全な処所に移動してください。
（警戒レベル5） 市域で災害が発生 火災、爆発、その他重大な事故により被害が発生 発生災害が拡大し、被害が甚大と予想される 震度5強以上の地震発生 特別警報が発表	非常体制（2号配備）  非常体制（3号配備）	被災地のほか必要と判断した場合には、各班の班長から担当部へ連絡。	既に災害が発生しています。命を守る最善の行動を取ってください。

### ◆城西地区で予想される災害

【大雨】  
・吉井川の氾濫、堤防決壊による水害、土砂災害  
・扇田川や新川などの氾濫による水害、土砂災害  
・内水氾濫による水害  
・土砂災害

【地震】  
津山市に大きな被害（震度6以上）が予想される地震とその震度等

地震・断層名	マグニチュード	市内最大震度	今後30年の発生確率
新断層型地震			
山崎新断層*	8.0	6強	0~1%
那岐山断層*	7.6	6強	0.06~0.1%
大立断層・田代断層・市江断層	7.2	6弱	未推計
南海トラフ地震	9.1	5強	70~80%

※ ＊印は主要断層（出典：津山市地域防災計画（2019年5月版））

【備忘】  
・暴風による建物の損傷・倒壊、竜巻による通行止め、停電

### ◆避難所での約束（抜粋）

災害が起こりそうなとき、または災害が起こり、自宅にいられないときは避難所に来てください

#### 約束 1）避難所の運営について

◆城西地区の指定避難所の本部責任者は、城西支部自主防災隊協会の本部員と副本部員です。意見の集約、避難所内の連絡などは本部を中心に行います。

#### 約束 2）避難所は助けが来てくれるところではありません

◆避難所を運営する人も主に避難者です。できるだけ早く日常生活を取り戻せるよう、避難所にかかわる全ての人が協力して運営していきます。

#### 約束 3）避難所は地域の支援拠点です

- ◆避難所の中は、基本的に町内会ごとに居住場所を決めます。
- ◆車の中、テント生活等、避難所以外の避難者にも配慮します。
- ◆この避難所は、地域外の方も受け入れをします。
- ◆避難所は子どもからお年寄りまで、さまざまな年齢、さまざまなニーズを持った人が共同で過ごします。安心して、心ゆくまで過ごせるよう、お互いに心遣いをして環境を整えていきましょう。



### ◆避難所の開設・運営の流れ

- ☆ 災害発生直後の対応  
まず安全確認
- ＊自分と家族の安全を確保し、避難所または地域の一時的避難所に避難しましょう
- ＊町内会は支援が必要な人を平常時から把握しておき、災害の状況に応じて必要な対応を行います
- （避難所へ）
- ☆ 防災担当事員は避難所に集合し、次の業務を行います
- (ア) 避難所の安全確認
- (イ) 避難所設置
- (ウ) 避難者受付、組み分け
- (エ) 災害警戒本部へ連絡、避難所の運営

### ◆災害時の緊急連絡先

連絡先	電話番号
津山市役所 危機管理室	0868-32-2042
災害対策本部（明暗外）	0868-32-2170
災害対策本部（災害発生時）	0868-23-2130
津山團地消防組合	0868-31-1119
津山警察署	0868-25-0110
中国電力（株）津山営業所	0120-410-254
津山ガス	0868-22-7211
津山市水道局	0868-32-2107
	（明暗外）0868-23-4455
NTT 西日本	0120-444-1113
吉田ダム管理所	0868-52-2151
(ア) 避難所の安全確認	0868-21-8111
津山第一病院	0868-28-2211
災害用伝言ダイヤル（録音時）	171-1
災害用伝言ダイヤル（再生時）	171-2

## R2年度 策定した城西地区防災計画の見直し

### ◎R2年 年間計画

- ・ 地区防災計画と資料の内容見直し
- ・ コロナ禍における避難所運営
- ・ 災害弱者避難支援（マイタイムライン作成と見守り台帳見直し）
- ・ 防災訓練（11月）
- ・ 城西版クロスロードゲーム



津山市 家の避難計画（風水害編）【マイ・タイムライン】 作成年月日 令和 年 月 日

時間	事前に確認しておく	
平常時	<input type="checkbox"/> 自宅の状況の確認（自宅の周りの危険性について、ハザードマップから確認しよう） <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域内 <input type="checkbox"/> 土砂災害特別区域内 <input type="checkbox"/> 浸水想定区域内 想定浸水深 m～ m	
	<input type="checkbox"/> 避難する場所（避難先での感染症予防のため3密を避けるには、どのような場所に避難できるか考えよう） <input type="checkbox"/> 指定避難所 <input type="checkbox"/> 地域の自主避難所 <input type="checkbox"/> 親戚・知人家 <input type="checkbox"/> 自宅の浸水しない場所 <input type="checkbox"/> その他 実際に避難する場所： 避難する場所までの移動時間： 分 <small>※避難する場所の開設状況は、事前に確認してから避難しよう！！</small>	
	<input type="checkbox"/> 避難する場所までの交通手段 交通手段：	
平常時	<input type="checkbox"/> 避難する際、我が家を支援してくれる人 名前： 電話： <input type="checkbox"/> 避難する際、我が家が支援する人 名前： 電話：	
	<input type="checkbox"/> 災害情報等を取得する手段（屋内や屋外で利用できるよう、複数の情報取得手段を準備しておくことが重要です） <input type="checkbox"/> つやま災害情報メール <input type="checkbox"/> 緊急告知防災ラジオ <input type="checkbox"/> 防災行政無線 <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> スマートフォンのアプリ（Yahoo!防災・LINE等） <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	<input type="checkbox"/> 避難を開始するタイミング タイミング：	
台風	<input type="checkbox"/> 避難に必要なもの（非常持ち出し品）（避難先での感染症予防のため、裏面のチェックリストと併せて必要なものです） <input type="checkbox"/> ロマスク <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> ハンドソープ <input type="checkbox"/> 上履き、スリッパ <input type="checkbox"/> 使い捨てビニール手袋 <input type="checkbox"/> ティッシュ、ウェットティッシュ、ポリ袋等 <input type="checkbox"/> 持病用の常備薬、お薬手帳 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 使い捨てビニールエプロン、またはゴミ袋 <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> 住所・氏名及び緊急連絡先を記入したメモ等	
	想定 3日以前 大雨発生の可能性	
	気象情報・警戒レベル等 【台風発生】 《台風の進路予想が天気予報などで伝えられる》	
	我が家が取るべき行動と備え	行動と備え（参考例） <input type="checkbox"/> テレビの天気予報に注意 <input type="checkbox"/> 今後の台風を調べ始める <input type="checkbox"/> 家族全員の今後の予定の確認 <input type="checkbox"/> マイ・タイムラインを確認



## 第8回 城西地区防災訓練

(R2.11.2)

第8回 城西地区防災訓練

### 災害時 きっと役立つ 3密を避けた防災訓練

開催日時：令和2年 11月29日(日曜日)  
午前 10:00~12:00(この時間内いつでも) ※雨天決行

場所：津山市立西小学校運動場(雨天:体育館)

対象：● **城西地区全住民**

- 非常時に地域の防災リーダーとなる町内役員、民生委員、愛育委員、老人会、青壮年、子供会の方は必ずご参加ください。

内容：● **避難所受付訓練**

- 非常持ち出し品確認・展示コーナー  
各家庭の非常持ち出し品をご持参ください
- 津山市災害メール・西小見守りメール登録コーナー  
登録がまだの方は携帯電話をご持参ください
- マイタイムライン作成コーナー  
災害時の安心のために作っておきましょう

アドバイザー：磯打千雅子 香川大学 特命准教授

※当日、城西地区見守り台帳に登録されている方の安否確認を行う町内もあります  
※参加された方は非常食(パン・炊き込みご飯・クラッカーほか)を配給します  
※当日はマスク着用、検温(37.5度以上は参加できません)の上、ご参加ください  
※予定が変更になる場合があります

主催：城西まちづくり協議会(城西浪瀬館内) Tel/Fax 0868-22-8688









# 資料の見直し・改良

車中泊

2. 町内別受付簿 ( 年 月 日受付分)

町内会名:

No.	(ふりがな) 世帯主氏名	避難者合計	性別		避難者内訳					特記事項 (病人・けが人の人数等) 車種・No.	
			男性	女性	乳児 (1歳未満)	幼児 (1歳～就学前)	児童 (小学生)	大人 (中学生～64歳)	高齢者 (65～74歳)		高齢者 (75歳以上)
1		人	人	人	人	人	人	人	人	人	
2		人	人	人	人	人	人	人	人	人	
3		人	人	人	人	人	人	人	人	人	
4		人	人	人	人	人	人	人	人	人	
5		人	人	人	人	人	人	人	人	人	
小 計		人	人	人						(避難所名: )	

※ 太字枠内をご記入ください

※ この受付簿の内容は個人情報です。安否確認などの際は、避難所入所者カード等で情報提供の可否を確認してください。

## 城西見守り台帳(表)

作成：城西まちづくり協議会  
事務局 城西公民館 城西浪漫館 TEL 22-8688



援助要否 (有・無)		記入日 年 月 日		更新年 2022・2023・2024・2025・2026	
名前	生年月日 (男・女)	T S H	年 月 日 ( 歳)	血液型	住所 町内名( ) TEL( )
		かかりつけ病院 診療科 医師			
かかりつけ病院 診療科 医師		病名		電話	
体調で気になること 気を付けること				要介護度	要介護度 1・2・3・4・5 要支援 1・2 事業対象者 (有・無)
障がい者手帳		有 (種類 ) ・ 無			
災害時の避難		支援者名)	支援者TEL)	避難場所	
緊急連絡先	名前	続柄	住所		電話番号

### クロスロードゲーム設問(城西版)

No.	あなたは	状 況	設 問	YES	NO	城西
1	障害者	1人では動けない	障害があることを周りに伝える？	伝える	伝えない	
2	地域住民	だんじり倉庫が地震で崩れそう	だんじりをどうするか	出す	出さない	
3	山側住民	高台にある避難所に他の町内の人が多数避難してきた		受け入れる	受け入れない	
4	防災部員	自分の担当する近所の登録見守り援助者の様子を見に行きたいが避難所開設のため早く避難所に行きたい	どちらの役割につくか	町内役員として要支援者安否確認	防災部員として避難所設営	
5	炊き出し班	防災部員のみで調理中	避難者が調理の手伝いを希望してくれた	手伝ってもらう	初めて会う方なので断る	
6	防災部員	避難所運営をしなければならない	1人暮らしで自宅周辺が気になる	自宅に残る	避難所運営する	
7	駐車場誘導係	車の出入りが楽になるよう、もっと間隔を空けて整然と駐車させたい	次々車が入ってくる上、駐車場係の人員が足りない	車を制限する	人員を増やす	
8		高台下に降りられない	他の人を助けに行きたいが自宅も心配	助けに行く	家にいる	
9		地震で屋根が壊れブルーシートが必要。雨も降りそう。	ブルーシートの数が足りない	皆に同じ数(2枚ほど)だけ渡す	被害が大きいところにたくさん渡す	
10	地域住民	浸水想定最大規模(1000年に一度)に見直され、新築したての自宅が区域内に入ってしまった(床上相当)	浸水対策	する	しない	
11	受付係	城西以外の避難家族(県外在住)のうち一人38度の発熱	受け入れるをどうするか	受け入れる(車中泊舎)	受け入れない	
12	避難者	家の片付けをしに帰宅したいが、家に備蓄食料はない	食料だけをもらいに来た人にどう対応するか	食糧を供給する	帰宅した人には食料を渡さない	
13	防災部員	災害時できるだけ多くの要支援者を安全な場所に無事に送りたい	人手が足りない	誰かを呼びに行く	急を要するので1人で対応する	
14	避難所運営責任者	多数の避難者がいる	避難スペースがない	先着順	優先順位をつける	
15	高台の住民	川沿いの町内が水害に遭い水・食糧が不足している	自分が常備している分を分けるかどうか	差し入れる	差し入れない	
16	消防団員	防災部員として協力したいが消防団としても協力したい	消防団として動くか、防災部員として動くか	防災部員の人に任せる	消防団から応援を送る	
17	防災部員	トイレ利用者が多い	トイレ当番を決めたい	町内で順番	利用者で当番	
18	女性住民	避難所にゴミがたまっている	ゴミをなるべく出さないようにしたい	避難者に呼びかける		
19	薬品会社員	人を助けたい	必要な人に薬を与えなければならない	病院や倉庫に入れておく	避難者に渡す	
20	町内会長	避難しなければならない	防災部員の役員となっている	避難所に詰める	町内公会堂に詰める	
21	消防団員	災害時の病人や被災者発見	病人けが人の早期発見をしたい	町内単位で分担		
22	炊き出し給水班	支給された非常食数が少ない	ある分だけを配るかどうか	配る	配らない	
23	防災部員	避難所は寒いが毛布が少ない	SNSやマスコミ取材は使える状況	支援物資を募る	募らない	
24		避難所に大学生が次々ボランティアしたいと訪れたが受け入れ体制はまだ整っていない	受入れ体制が整うまで待ってもらう	一旦帰ってもらう	残ってもらう	
25	防災部員	避難所に向かう途中一人暮らしの高齢者が気になった	助けるか助けないか	助けに行く	助けに行かない	